



平成30年1月1日現在

総人口	12,758人
男	6,204人
女	6,554人
世帯数	5,264世帯

＊成年に狛犬を観る

今年は成年です。そんな成年にかけて、島内の狛犬を紹介します。

神社や寺院の入り口などに左右対で、主に魔除けの為に置かれているといえます。狛犬の起源は古代インドといわれていて、仏様の両脇に守護獣としてライオンの像を置いたのが始まりだそうです。その後インドから中国へ伝わって、飛鳥時代に日本へ伝わってきたといわれています。狛犬とは「こま」の「犬」ではなく、もともと空想上の霊獣で「犬」ではありません。当時は左右の姿に違いはなく、両方とも獅子でした。現在では、向かって右側の獅子像が「阿形」で口を開いていて、左側の狛犬像が「吽形」で口を閉じているので、一対で「阿吽」とされています。時代の流れとともに、一般的に併せて「狛犬」と呼ぶようになり



マニアも注目の大宮神社・狛犬

ました。全ての神社に狛犬が置かれている訳ではなく、鶴宮・武宮にはありません。何故でしょうか？

狛犬のルーツや言い伝えには諸説ありますが、普段何気なく見ている狛犬。今年はいくつくりご覧になつてはいかがでしょうか？



小宮神社鳥居の補修工事が終わりました



地元の石屋さん造った小宮神社の狛犬

終了後、出席者からは「もう少し具体的な答えが欲しかった」などの声もありましたが、懇談会を通して改めて身近な課題に関心が高まった様子でした。

「三世代交流食堂事業」
青少年補導委員 犬飼敏一氏
町町会長 高島清次氏
「高齢化による交通弱者対策」
下田町会長 逢澤幸子氏
(付足) 山田町会長 大澤博氏
これらのうち三世代交流事業は、昨年6月に行った「愛ランド島内」の継続開催に向け、諸手続きの申請に係る要件緩和を要望しました。菅谷市長は「取り組みやすい交付金になるよう、要項など見直しを図りたい」と応じました。他の2件については、他地区も同様の状況にあり、検討を深めたいとの各担当部長の答えがありました。

昨年12月21日島内公民館で島内地区市政懇談会が開催され、約103人が参加し市側に3件の提案をしました。それぞれについて菅谷昭市長、各担当部長から回答がありました。

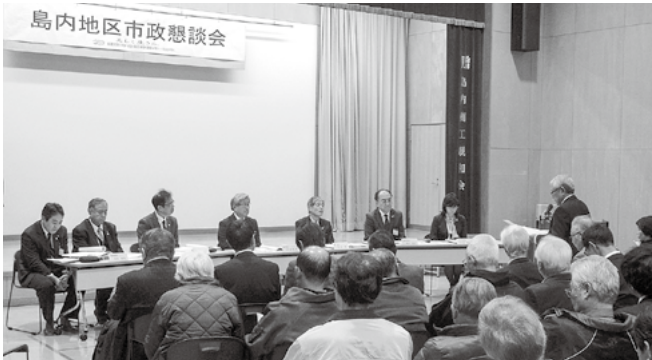
市政こんだん会

いいまち・松本・島内を目指して、住民が3件提案



1月11日に開催され多くの方が参加されました

新年祝賀会



島内地区市政懇談会

地域に広がる喫茶店

中田町会 ふれあい広場

平成23年より70歳以上の高齢者を対象に始まりました。日曜日に約15人が集います。運営費は町会から出ています。町会長・健康づくり推進委員・民生委員が中心となり、いろいろな楽器の伴奏と、手づくりの歌本を手に皆で楽しく唄います。



松島町会 縁側サロン

「松島の女性を元気にしよう」と立ち上げた縁側サロン。会費は一回百円(お菓子代)で、とにかく家から一歩出て皆と顔を合わせ「おしゃべり」をすることを目標に昨年からはじめ12月19日に8回目を開催することが出来ました。

当日の当番は常会単位で順番に回して、お茶などを準備しますが、毎回20人前後の参加があります。大きな声で歌い、ゲームをし、おしゃべりをして楽しいひと時を過ごしています。

今年には更に多くの皆さんが参加してもらえようようにしていきたいと思っています。



「お茶っこ」体験記

最近いろいろな所で開かれている「お茶飲み会」。「島内の方ならどなたでも」という言葉に誘われ、参加を決意。地域住民有志の方が用意してくださった、お茶とお菓子を口にしながら「お茶っこ」の始まりです。

ハーモニカの得意な参加者の伴奏で「ベチカ」など唄ったり、施設の職員さんからの足の体操を教えていただいたりと、一時間半があつという間に過ぎました。

「まだまだ試行錯誤の段階です」とスタッフさんは言います。

参加者の皆さんが笑顔で帰って行かれました。地域住民が気軽に立ち寄れる場になってほしいなと思いました。

主催：河西部地域包括支援センター

「お茶っこ」

会場：老人保健施設ハーモニ
・ウエルライフ梓峰



島内公民館ギャラリー

ピアッザ 予定

陶芸展
1/22日~2/8日

島内公民館文化委員展
2/14日~3/1日

ほかにも...

福祉ひろば

縁側カフェ

月1回

公民館委員 視察研修



昨年11月15日に島内公民館委員の視察研修を実施しました。飯山市方面へ行き、各地域の伝統工芸等について研修してきました。

刃物研ぎ講座

シルバー人材センターの、研ぎのプロフェッショナルの方が講師となり、教えてくださいました。

今回で3回目となり、包丁以外のものも研いでみたいとの要望に応え、枝切り鋏や、鎌なども指導していただきました。一心に研ぐことで、切れ味も良くなり、物を大切にしたいこうという気持ちも研がれました。